

くらしき  
kurashiki  
市議会だより  
Vol.140

発行  
令和3年9月1日  
議会事務局議事調査課  
倉敷市西中新田 640  
TEL (086) 426-3706  
<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/gikai/>

倉敷市議会

検索



第7弾

特集

市議会キッズページ

議場ってどんなところ? P6

【6月定例会の概要】

市政のココが聞きたい (議員質問) P2

議案等審議状況 P7

市議会からのお知らせ P8

今号の表紙写真

タイトル: 「コロナ禍でも明るい未来」

コメント: この川を渡ればきっと楽しい未来が  
待っていると信じています。

撮影者: ななちゃん 様

多数のご応募をいただき、ありがとうございました。  
次回も皆様の力作をお待ちしております。(P8をご覧ください)



外拡声塔や緊急告知FMラジオなどで訓練実施を周知する。



公明党倉敷市議員  
井出 妙子



### 個別避難計画の策定を

災害時に支援が必要な人の円滑な避難のために、個別避難計画策定が急務である。いつまでに、どのように取り組むのか。

### 市 避難行動要支援者名簿の作成を進め、関係各団体と協議中

個別避難計画とは、避難行動要支援者名簿に記載された人それぞれの避難実施支援者や避難先、避難経路などを定める計画のこと。優先度が高い人は、5年以内程度で策定することとされている。現在、自力避難が困難な人を抽出して名簿の作成を進め、関係団体と協議している。



未来クラブ  
片山 貴光



### 災害時の住まいの確保は

南海トラフ地震の際に、急務となる建設型応急仮設住宅の建設予定地は確保されているのか。また、必要戸数が確保できない

場合、どう対応するのか。

### 市 関係機関と連携し取り組む

災害時に県が設置する応急仮設住宅の候補地は、市内16カ所を県に報告しており、今後も公共用地などの活用を検討する。賃貸型の応急仮設住宅は、県が不動産協会などと協定を結んでいる。市では市営住宅の空き住戸を活用するなど、関係機関と連携し、住まいの確保に努める。



未来クラブ  
赤澤 幹温



### 防災危機管理センターの機能は

新たな防災拠点となる防災危機管理センターは、どのような機能が強化される予定か。

### 市 消防局と防災危機管理室が連携して災害の状況などを迅速に共有、ICT環境も整備する

消防局と防災危機管理室を同じ建物内に配置、連携させ、災害の状況や119番通報の内容などを迅速に共有する。また緊急対応時、関係機関からのリゾンなどの活動スペースとなる会議室を確保し、迅速に情報を収集・共有・発信するためのICT環境も整備する。

## 環境



日本共産党  
倉敷市議会議員団  
三宅 誠志



### 温室効果ガス削減の取り組みは

市の二酸化炭素排出量は、80%が産業部門という特徴がある。この部門への排出抑制の取り組みは、カーボンニュートラルを表明した市の本気度が試されるが、今後の取り組みは。

### 市 市民や企業とともにカーボンニュートラルに取り組む

市が今回表明したカーボンニュートラルは、市民をはじめ多くの人の協力で成り立つものと考え。産業部門のコンビナート企業からも取り組みが出されており、共にカーボンニュートラルに向け取り組んでいく。



無党派  
時尾 博幸



### ゼロカーボンシティ実現に向け、今後の本市の取り組みは

脱炭素化へ協働の取り組みを進める連携中核都市圏の事例も聞く。水島コンビナートを有す

る市の、ゼロカーボンシティ実現に向けた今後の取り組みは。

### 市 クールくらしきアクションプランを改定する中で検討する

令和4年度から改定作業に入る「クールくらしきアクションプラン」の中で、高梁川流域市町との連携を含めて、市民、事業者、民間団体などと連携・協力し、ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みを検討する。



日本共産党  
倉敷市議会議員団  
末田 正彦



### 瀬戸内海の栄養塩を増やし、豊かな海への転換を

瀬戸内海の栄養塩が不足し、ノリの色落ちや漁獲量に影響している。このたび課題解決に向け法律が改正されたが、栄養塩を増やすための市の取り組みは。

### 市 関係漁業者と意見交換なども行いながら判断していく

瀬戸内海環境保全特別措置法の改正で、豊かな海を目指し県知事が栄養塩類の濃度管理に関する計画を策定できることになった。今後の放流水質の管理について、7月中くらいに関係漁業者と意見交換し判断していく。



新政クラブ  
大橋 健良



### 脱炭素社会実現に向けた、公用車の電気自動車への代替えは

脱炭素社会実現に向け、公用車を電気自動車などへ代替える必要があるが、ガソリン車より高額のため、計画的に行うべきである。現時点で代替えへの対応はどう考えているか。

### 市 市場の動向を見ながら検討

公用車の電動化は必要と考える。現状は、電気自動車の航続可能距離や価格面などからハイブリッド車などが中心。今後、急速な技術開発や増産も期待され、市場の動向も見ながら電気自動車導入を検討する。



公明党倉敷市議団  
中西 善之



### SNSを活用した、いじめなどの相談体制の構築を

深刻化するいじめに対し、SNSを活用した相談体制を構築すれば、相談のハードルが下がり、いじめ防止にもつながると考えるが、どうか。



児童生徒が、より相談しやすい体制を整える



市では、電話や面接、メールでの相談など、相談者に直接寄り添った対応をしている。一人一台パソコンなどを利用しオンラインで生活アンケートを実施するなど、児童生徒が、より相談しやすい体制を整えていく。



公明党倉敷市議団  
仙田 貴孝



### 小・中学校に整備の児童生徒一人一台パソコンの活用目標は

小・中学校に整備した児童生徒一人一台パソコンの、年度ごとの活用目標は。また、目標は現場と共有されているか。

### 市 段階的な活用目標を設定している

今年度は各クラスで1日1〜2回以上、令和4年度は1日2〜3回以上、授業で活用することが目標。令和5年度は小学校高学年以上で、令和6年度以降は全学年で、日常的に活用することが目標。この目標は、研修会を通じ学校内へ周知している。



日本共産党  
倉敷市議会議員団  
田辺 牧美



### 児童クラブの運営事業者が変わった場合の支援員の雇用継続は

令和5年度に、児童クラブ運営の法人委託が本格実施されるが、委託先は一定期間で再度公募するのか。また、運営事業者が変わった場合、勤務している支援員の雇用は継続されるのか。

### 市 新たな法人の公募要件で支援員などの雇用継続を求める

法人委託の本格実施後も、問題なく安定した運営ができていく限り、同じ法人業者に委託を継続する。法人事業者が事業撤退した場合は、新たな法人の公募要件として、現に勤務中の支援員などの雇用継続を求める。



くらしき創生クラブ  
三村 英世



### くらし・生活

### 自転車保険への加入義務化を

自転車利用の増加はよいことだが、交通マナーの悪化や、自転車事故の重大化が見られる。万一の場合、事故被害者が補償

されるよう、保険加入の義務化が必要と考えるが、どうか。

### 市 県が条例制定の研究を進めると聞いている

国が都道府県などに、条例などによる保険への加入義務付けを要請しており、県は条例制定の研究を進めると聞く。市も保険への加入は重要と考えており、引き続き、保険加入の重要性を市民に周知・啓発していく。



公明党倉敷市議団  
藪田 尊典



### 民間企業型の奨学金返還支援制度の周知を

企業が社員に代わり奨学金を返還できる民間企業型奨学金返還支援制度は、企業側にも税負担軽減のメリットがある。この制度を地元企業に働きかければ、地元若者が定着するのでは。

### 市 市内企業に制度の周知を積極的に図っていく

この制度を実施する企業が増えれば、奨学金返済に苦勞する若者の経済的、心理的負担を軽減し、人材の定着・確保にもつながると考える。市内企業への周知を積極的に図っていく。



新風くらしき  
平井 俊光



### 市民要望の進捗の情報共有は

市民要望についての関係者間での情報共有が不十分と感じる。市民への情報共有や進捗状況の報告について、行政と市民との間に入っている農業土木委員とは、どのように共有しているか。

### 市 要望者となる農業土木委員と必要に応じ情報共有している

農業土木委員は、地区ごとに水路や道路などに関する市民要望を取りまとめ、市に要望している。市は、農業土木委員に要望にどう対応するかを伝え、実施予定時期の変更などが生じた場合も、その都度連絡している。



くらしき創生クラブ  
北畠 克彦



### 海の駅を利用しやすくするための工夫が必要では

くらしき・こじま海の駅は、徒歩圏にコンビニ、JR児島駅、レンタカー会社などがあり立地に恵まれる。これら結び付け、利用しやすい海の駅を目指した工夫が必要と考えるが、どうか。

### 市 リーフレットの作成や、利用者アンケートなどを行う

地域資源活用のため、海の駅施設案内とともに、周辺アクセスや観光情報などを紹介するリーフレットを作成する。また、利用者アンケートや全国の事例調査を行い機能向上につなげる。



くらしき創生クラブ  
守屋 弘志



### 小田川河川敷の活用策は

小田川の再樹林化を防止するため、河川敷において水辺空間を活用しながら、国、市、各種団体が連携してはどうか。

### 市 国、市、地域団体などが連携し、取り組む必要がある

民間団体による河川敷活用の奨励や、呉妹、服部地区での許可を受けた酪農企業による牧草地としての利用事例のように、国は水辺空間の利活用を促進したいと聞いている。今後も、国、市、地域団体、企業などが連携し、良好な河川環境の保全に向け取り組みが必要があると考える。



### 総務



新風くらしき  
尾崎 勝也



### 投票率向上への取り組みは

今年秋までに衆議院議員総選挙の予定だが、投票率向上に向け、選挙期間中の広報活動などが重要。今まで以上に工夫の余地があると考え、どうか。

### 市 他の自治体の取り組みなども参考に、県選挙管理委員会とも連携し準備を進める

選挙期間中の啓発は重要と考える。今後、他の自治体の取り組みなども参考に、衆議院議員総選挙では県選挙管理委員会とも連携し、選挙をより身近に感じられる効果的な取り組みが展開できるように、準備を進める。



新風くらしき  
芦田 泰宏



### 分かりやすい市ホームページになるようデザインの改善を

市ホームページは、同じく緊急事態宣言が出ている他市と比べて情報量が多すぎ、字も小さく

分かりにくい。高齢者や弱視の人にも見やすいようにデザインを改善する必要があるのでは。

### 市 今後も知らせたい内容が分かりやすく伝わるよう工夫する

その時々で重要な内容については、現状の構成の中で、なるべく分かりやすく見やすいように配慮している。今後も市民に知らせたい内容が、分かりやすく伝わるよう工夫していく。



公明党倉敷市議員  
生水 耕二



### 公共工事の平準化の進捗は

令和元年6月議会で公共工事の施工時期の平準化について質問したが、その後の進捗状況は。また、受注者が着工時期などを選べるフレックス方式などの新たな平準化策を検討しては。

### 市 引き続き平準化に努める

債務負担行為の設定や繰越明許費の活用、早期発注などにより、年間工事量の偏りのなさを示す指標である平準化率で、市は県内平均を上回っている。今後、新たな平準化策について国や県などの動向も踏まえつつ引き続き平準化率の向上を目指す。



● 市長提出議案など (予算案2件、条例案12件、事件案5件、人事案4件、専決2件、報告7件のうち主なものおよび賛否の分かれたものを掲載)

件名	結果	未	創	公	政	風	共	青	無
令和3年度倉敷市一般会計補正予算(第3号) 新型コロナウイルス感染症対策として、高齢者施設などの従事者を対象としたPCR検査などを実施する経費、感染症の拡大により売上げに大きな影響を受けた中小企業などを支援する事業継続特別支援金交付事業費、庁舎等再編整備事業費、また、復興防災公園(仮称)整備事業費、学校防災教育推進事業費など、約25億4,400万円の増額を計上。(×のところは、庁舎等再編整備事業費、東京オリンピック・パラリンピック関係経費、市営あちてらす倉敷自転車駐車場の使用料徴収について反対。)	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○
倉敷市自転車等駐車場条例の改正について 市営あちてらす倉敷自転車駐車場を設置するとともに、駐車料金の徴収に係る規定を整備するなどのためのもの。(×のところは、市営あちてらす倉敷自転車駐車場の使用料徴収について反対。)	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○
令和3年度倉敷市一般会計補正予算(第4号) 国が新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の給付を決定したことに伴い、総合支援資金の再貸付を終了した世帯などに対して、単身世帯6万円、2人世帯8万円、3人以上世帯10万円を最大3か月給付するための事業費、約4億1,000万円の増額を計上。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○

● 請願 (請願とは・・・市民の皆さまの市政に関する要望や意見)

件名	結果	未	創	公	政	風	共	青	無
倉敷市に「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ宣言」を求めることについて 令和2年10月、菅首相が2050年までの脱炭素社会の実現を目指すことを宣言した。温室効果ガス排出実質ゼロの目標は経済界も含め歓迎しており、すでに日本の目標として共有されている。市長も、「日本が世界と足並みをそろえ、取り組みを推進することは重要」としている。倉敷市に「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ宣言」を行い、パリ協定の1.5℃目標に整合した計画への見直しと、一般市民、とりわけ将来の環境の影響を受ける若い世代を含むオープンな議論に基づき、速やかに行動に移すことを求める。	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○
地方財政の充実、強化を求める意見書の提出について (内容は下記の議員提出議案に記載しています)	採択	○	○	○	○	○	○	○	○
「より安全な学校給食」の実現に関することについて 倉敷市は地元産米の100%使用など、先進的取り組みを行っているが、パンなどに使われる外国産小麦からは除草剤成分が検出されている。農業には子どもの発達障がい増加への影響も指摘される中、他自治体では有機野菜や地元産小麦などを使った、より安全な学校給食に取り組み、国も有機農産物の学校給食導入を支援し始めている。学校給食に、地元産で農薬がより少ない農産物を段階的に増やすこと、国産小麦(できれば県内産)のより積極的な使用、主食は「米飯」を基本に頻度を増やすことを求める。	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○
加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書の提出について 加齢性難聴はコミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな原因になっており、鬱や認知症の危険因子との指摘もある。日本の補聴器使用率は欧米に比べ低く、普及が求められるが、補聴器は片耳当たりで約3~20万円、保険適用がなく全額自己負担である。高齢者が心身共に健やかに過ごし、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の削減につなげるため、国において、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を創設することを強く要望する。	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○

趣旨採択・・・請願の趣旨や考え方に理解できる部分はあるが採択まではできないという決定  
今回、請願の求めている国への意見書提出や、市への採択請願の送付はしていません

● 議員提出議案

件名	結果	未	創	公	政	風	共	青	無
倉敷市議会会議規則の改正について 多様な人材の市議会への参画を促進して議員のなり手確保につなげるため、本会議、委員会の欠席理由として、出産の場合の産前産後の期間や、育児、介護などを規定し、また、請願の提出の際、署名があれば押印を不要とする規定とするため、規則を改正するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
倉敷市議会委員会条例の改正について 予算委員会を予算決算委員会とするため、条例を改正するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
倉敷市議会政務活動費の交付に関する条例の改正について 政務活動費を暫定的に減額するため、条例を改正するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
地方財政の充実、強化を求める意見書の提出について 地方自治体は人材が不足し、疲弊する職場実態の中、新型コロナウイルスの出現によるワクチン接種体制の構築、防疫体制強化など、即時の対応が求められる課題と同時に、少子・高齢化の進展、近年多発する大規模災害、またデジタル・ガバメント化への対応も迫られている。国が新型コロナウイルスへの対応に巨額の財政出動を行う中、2022年度以降の地方財源の十分な確保には、大きな不安がある。2022年度政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍による新たな行政需要なども把握しながら、歳入、歳出を的確に見積り地方財政の確立を目指すよう国に求める。(同趣旨の意見書を国に提出)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○

● 委員会提出議案

件名	結果	未	創	公	政	風	共	青	無
<b>単県医療費公費負担制度に係る補助率の見直しを求める意見書の提出について</b> 岡山県の単県医療費公費負担制度における本市への補助率について、小児医療費については平成30年度に4分の1に引き上げられたが、政令市である岡山市を除く県内他市町村が全て2分の1であるのに対し、依然として、本市のみ補助率が引き下げられている状況は、遺憾である。 岡山県においては、単県医療費公費負担制度の目的、趣旨に鑑みて、同じ県民である倉敷市民がひとしく恩恵を受けられるよう、補助率を2分の1に戻すことを強く要望する。(同趣旨の意見書を県に提出)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○

会派構成

【未来クラブ】	【くらしき創生クラブ】	【公明党倉敷市議団】	【新政クラブ】	【新風くらしき】	【日本共産党倉敷市議会議員団】	【青空市民クラブ】	【無会派】
赤澤 幹温 大橋 賢 片山 貴光 原田 龍五 矢野 周子 山畑 滝男 若林 昭雄 ※中西 公仁	荒木 竜二 伊東 裕紀 北畠 克彦 難波 朋裕 三村 英世 森 守 守屋 弘志	井出 妙子 生水 耕二 梶田 省三 仙田 貴孝 中西 善之 新垣 敦子 藪田 尊典	大橋 健良 大守 秀行 塩津 孝明 瀧本 寛 松成 康昭	芦田 泰宏 尾崎 勝也 中島 光浩 日向 豊 平井 俊光	末田 正彦 田口 明子 田辺 牧美 三宅 誠志	小郷ひな子 齋藤武次郎 藤井 昭佐	秋田 安幸 塩津 学 時尾 博幸 藤原 薫子

(無会派：会派に属さない議員)

倉敷市議会議員の表彰

中国市議会議長会から表彰を受けた議員に対して6月7日に表彰状の伝達を行いました。  
 受賞者を代表して、森守議員が、議長より表彰状を受け取りました。

中国市議会議長会表彰

【議員28年以上】	森 守	大橋 賢	秋田 安幸	齋藤武次郎
【議員20年以上】	原田 龍五	三村 英世		
【議員16年以上】	末田 正彦	塩津 学	時尾 博幸	赤澤 幹温
【議員12年以上】	中西 公仁	北畠 克彦	塩津 孝明	大橋 健良
【議員8年以上】	荒木 竜二	藤井 昭佐	中島 光浩	難波 朋裕
	大守 秀行	片山 貴光	松成 康昭	日向 豊



市議会からのお知らせ

くらしき市議会だよりが、議会報コンクールで優秀賞を受賞しました！

『くらしき市議会だより』第136号(令和2年12月1日発行)が、中核市議会議長会の第16回議会報コンクールで、優秀賞を受賞しました。平成30年の第13回コンクールに続いての受賞です。今回は、新たに表紙写真を公募にしたことや、一般質問ページの紙面構成の工夫が評価されました。

今後も、多くの方に倉敷市議会に関心を持っていただけるよう、読みやすい市議会だよりを目指します。



次号の表紙写真を募集します！！

あなたのお気に入りの1枚を送ってください

あなたが撮った写真が「市議会だより」の表紙になります。テーマは自由です。市内のイベント、風景など、倉敷市の魅力あふれる写真をお送りください。採用になった作品は、次号の表紙に掲載させていただきます。

(令和3年9月期募集)

令和3年9月1日(水)～令和3年10月20日(水)

※詳しくは、市議会ホームページ(市議会だより表紙写真募集案内)をご覧ください。



倉敷市議会 第3回定例会日程(予定)

月	日(曜日)	会議日程
9	1(水)	本会議：開会、議案上程、提案理由説明
	7(火)～9(木)	本会議：質問
	10(金)	本会議：質問 委員会：予算決算
	13(月)	委員会(予算決算分科会)：保健福祉・環境水道
	15(水)	委員会(予算決算分科会)：市民文教・文化産業
	17(金)	委員会(予算決算分科会)：総務・建設消防
	24(金)	委員会：予算決算
	28(火)	本会議：委員長報告、議決、閉会

※正式には開会予定日の1週間前に開催される議会運営委員会で決まります。